

May 4, 1998 : 和歌山田辺市 : 天神崎

紀伊田辺駅に着くと、JRサイドビジネスの一つとしてレンタサイクル・サービスのあることがわかり、これ幸いと1日のレンタルをお願いする。その際、周辺のおおまかな地図のついた観光パンフレットをもらって、直ちに「天神崎」をめざす。複雑に入り組んだ信号地点から海側へと進むと人家の間をぬける狭い道路となり、ウバメガシの林をくぐると左手に漁船が並ぶ港風景が広がり、前方右手に「天神崎」の一角が見えてくる。広い岩棚がところどころ太陽光線を反射して光っており、先端部には釣り人の姿がみえる。チョウがいそうな環境に注意しながら先へと進むと右手に大きく窪んだ湿地帯があって、周囲を固めるように張り出た岩肌にとべらが白い花を咲かせている。10時前という蝶が活動するには十分温度も上がった時間帯だということにアオスジアゲハもまだ来ていない。さらに100mほど進んだところに山側へと入り込める道が見え、自動車も止められる十分なスペースもあるので自転車をここに置いて本腰を入れた探索行動に移る。いきなり急な上りで始まる狭い道だが、しっかりした木柵で階段を組んでくれた上り道を50mも進むと大きな茶色の岩盤地帯となり、すでに頂上部でもある。あたりには松の木や背の低い灌木が茂る。ウラギンシジミの♀が銀色を輝かせて飛ぶ。先の下り道へと進むと、不安定な木道を伝っていきなり湿地帯にでてしまう。降り立ったすぐ右横にイボタノキがあって蝶が好む花も咲いている。さっそく大きなモンキアゲハがやってきて蜜を吸い始める。新鮮な個体で、このモンキアゲハが和歌山での初採集蝶となる。これだけか、とイボタの花周辺を注意して観察すると、イボタノキのすぐそばのカヤ科植物の葉上にやや大きめのルリシジミらしきチョウが目に入る。さっとネットを振って取り込むと、ルリシジミにしては白が目立つ。サツマジミのみだ。新鮮体ではないが、蝶歴40年にして初めての採集個体だけにうれしい。このあと見たのはコミスジとキチョウだけで、湿地帯をそのまま海側へとたどると先ほど自転車をとめた場所からわずかししか離れていない本道へと出る。この道を一気に天神崎の反対側終着点まで走ってみるも、チョウがあそぶのに適当な場所は見つけられず、とべらの花地点までもどる。案の定アオスジアゲハがきているが、ミカドアゲハはとうとうここでは見られないままひきあげる。



May 4, 1998 和歌山天神崎 サツマジミ

May 13, 2000 : 高知市

五台山公園鹿の段で1♂の新鮮個体を捕獲。水のみ場近くの路面でひときわ明るいブルーの輝きを放つルリシジミ属が吸水行動をしており、その後ゆっくりとした飛翔でアセビの灌木が茂る木陰に移動して静止したところをネットインし、初めてサツマジミだと確認。この鹿の段には五台山植物園の管理事務所があって、その周りの垣根としてサンゴジュが植えられている。ずっと高知市の蝶観察を



継続している蝶友の大野浩氏に電話で問合せたところ、近年、サンゴジュが増えたせいサツマジミをみかける機会も多いとのこと。しかし、その後5月14-16日とミカドアゲハ観察のかたわら鹿の段から五台山植物園までの一帯を広く探索してみたが、新たな個体を見ることはなかった。翌年の同じ日 May 13, 2001 に、サンゴジュのある上記管理事務所の庭内で新鮮な♀を観察できたことから、継続的に発生している可能性が考えられる。



#### June 17, 2003 : 和歌山県周参見

社用による那智勝浦宿泊出張を終えてのJR特急利用による帰路、チョウが遊んでいそうなところがあれば途中下車をしてチェックをしようと、ずっと窓外の風景に注意を向けてもどるなか、周参見が近づいたあたりの山側景色がなんとなく好ましく思え、下車を決断する。駅を出て山側への道を探して人家の間の小道をたどる。人家がまばらとなって山が谷を形成している場所へと踏み込むと、人家の山側が樹高2m以上はあるサンゴジュの垣根となっていて、よくみるとその梢部分を小さなシジミチョウが転々と飛んでいる。感じからしてサツマジミのように見えるが高すぎてよくわからない。粘り強く観察しているうちに白っぽいブルーのまさしくサツマジミの♂が舞い降りてくる。ネットを一振、採り込んだチョウはピカピカの新鮮個体で、ここまできれいなサツマジミは初めてでうれしくなる。次いで反対側の草むらからサツマジミにしては黒っぽいシジミチョウがゆるやかに飛びだし、すぐにそこらの草葉の上に静止する。その弱々しい羽根の状態から、たったいま羽化して、ようやく飛べる状態になった♀だと見える。傷をつけないようにそっとネットに採り込むと、まちがいないサツマジミの超新鮮♀個体だ。JR特急電車の中から、チョウがいそうだと直感した山際で新鮮なサツマジミを一気に♂♀のペアでしとめられるとは、あまりにもラッキー。ふしぎなことに、その後はまったくチョウは現れずに終わる。



30617 周参見 サツマジミ♂



30617 周参見 サツマジミ♀

#### Nov. 3, 2014 : 和歌山県串本町

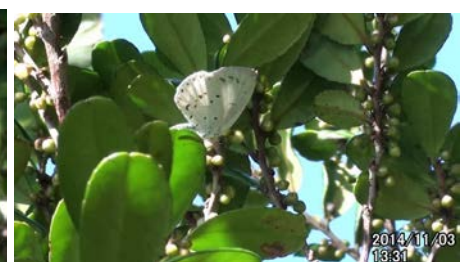
晩秋の荒船海岸は、道沿いに咲くツワブキの花にサツマジミとヤクシマルリシジミが訪れて楽しめる。訪れた時期がやや遅かったのか、新鮮個体が少ないが、それでも自然状態の記録を撮るのにはいい環境が残っている。潮岬のハマヒサカキでは産卵中の母蝶も観察できた。



串本:荒船海岸 サツマジミ♀ 2014/11/03 8:29



サツマジミ♂ 2014/11/03 9:08



2014/11/03 13:31